２年　技術・家庭（家庭分野）　週１時間　　　　　　　　担当：磯部　祥子

１　教科の目標（学習のねらい、身に付けたい力）

○「衣生活」の学習では、衣服の着方や働きや選び方、手入れの方法を学習すると共に、布を用いた物の製作を行い、衣生活の自立を目指します。
○「住生活」の学習では、住空間について考え、住居の基本的な機能や、安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる能力を育てるようにします。
○「消費生活・環境」の学習では、日常生活の中での消費と、それが環境に与える影響を考え、適切な物資やサービスの選択や購入ができることを目指します。

２　年間学習計画と単元（題材）

	題材名・単元名	内容
１学期	さまざまな食品とその選択	・生鮮食品の選択と保存 ・加工食品の選択 ・食品の安全と情報
	日常食の調理	・こんなにおいしい魚の調理 ・好きになる野菜の調理
	日常着の手入れと保管	・まかせて衣服の手入れ ・布の繊維に応じた手入れ
	生活を豊かにするものの製作	・布による作品で生活を演出 ・製作の基礎・基本
２学期	生活を豊かにするものの製作	・布による作品で生活を演出 ・製作の基礎・基本
	住まいのはたらきとここちよさ	・住まいのはたらき ・住まいの空間
３学期	安全な住まいで安心な暮らし	・家庭内事故への備え
	家庭生活と消費	・消費生活のしくみ ・家庭生活における収入と支出
	購入・支払いと生活情報	・いろいろな購入方法 ・購入前に知っておくこと ・いろいろな支払方法
	消費者被害と消費者の自立	・情報を活用した上手な購入 ・なくならない消費者被害 ・消費者を支えるもの
	持続可能な社会	・消費行動が社会に与える影響 ・消費行動が環境に与える影響

3　評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	・学習内容を理解している。 ・生活に関わる知識をもっている。 ・作品の製作において、計画に従って安全に留意し効率よく進めることができる。 ・作品や技能テストにおいて、手縫いやミシン縫いなどの基礎的・基本的な技術を身に付け、正確に縫うことができる。 ・定期考査の知識・技能の問題に答えられる。	・ワークシート ・作業の進度 ・作品の完成度 ・技能テスト ・定期考査
思考・判断・表現	・衣服の着用の課題や作品の布を用いた作品の製作において自分らしさを表現することができる。 ・製作を振り返り今後の生活に生かそうとしている。 ・洗濯や掃除などの宿題に課題をもって取り組み、ワークシートに記入できる。	・ワークシートの意見記述とデザイン画 ・ワークシートの記入
主体的に学習に取り組む態度	・ワークシート等に学習した内容を記入している。 ・教科書、裁縫道具などの忘れ物が無い。 ・宿題などの提出物を怠りなく出している。 ・授業(実習)に主体的に取り組んでいる。	・忘れ物、宿題等提出物 ・授業への取組 ・作業の進度 ・宿題の内容

4　授業の取組についてのアドバイス

・教科書、裁縫道具、エプロン、宿題の提出など忘れ物をしない。
・授業に集中し、ワークシートの記入をし、必要なことはメモを取る。
・ワークシートは、順番通り指示された通りに台紙に貼って保管する。
・作品の製作において、指示されたところまで丁寧に作る。

5　家庭学習の進め方についてのアドバイス

・家庭生活において、衣服の手入れや料理作りなどの仕事に積極的に取り組み、基礎的な技能や知識を身に付ける。
・実習や技能テストの前には、予習として家庭において練習してくるとよい。
・学習した事柄について長期休業中に実践課題レポートの宿題を出すので、必ず取り組み提出する。
・日頃から生活や環境について関心をもって新聞やテレビなどで情報を得るように心掛ける。

6　定期考査前の取組についてのアドバイス

・考査範囲のワークシートを活用し、重要な言葉や数字を書き出したり、蛍光ペンなどでマークしたりして覚える。

7　苦手な人の取組についてのアドバイス

・家庭分野では、将来できるだけ他の人の指示や世話を受けないで自立できるようになるとともに、他の人たちと支え合って生活できるようになることを目指しています。そのために家庭生活においても、衣・食・住などの家庭での仕事の手伝いなどを積極的に行い、家族の一員としての役割を果たしていきましょう。また、支え合いの視点から、地域や社会、自然などの環境も考えながら生活することも大切です。視野を広くもち、本や新聞、テレビなどからさまざまな生活に関する情報を積極的に得るように心掛けていきましょう。